

「ラウンドテーブル」のもち方について

ラウンドテーブルにおける発表について

宇大教育実践フォーラムでは、小さなグループでじっくり語り合う「ラウンドテーブル」方式を採用しています。

1 グループ 5人程度で テーブルを囲み、教育実践を語っていただき、それに基づき語り合うものです。必ずしも学校を代表しての発表でなくても個人の取組でも歓迎です。

語り合ってもらいたいこと

個人としての教育実践

教科・領域での授業改善、学級づくりでの取組 等

校内の分掌における実践

研究主任としての取組、学校行事の改善 等

キーワードは 失敗、 試行錯誤、 ありのまま

立派な成果だけを発表するというイメージよりも、試行錯誤や失敗を繰り返す中で、自分らしい実践の在り方や、子どもたちのありのままの姿を発見した、というようなお話が聞きたいと思います。

率直な悩み、行き詰まりを語り、きっと誰もが持っている経験をもとに相談し合えるような会でありたいと思います。

キーワードは 省察、 反省的实践家

教師としての成長は、自らの実践を、ありのままに観察し、謙虚に反省するところから始まります。語り合うことによって、自らの癖や考え方の特徴に気がつき、その長所・短所をありのままに見つめることによって、次の一歩が踏み出せるのです。

発表者の準備するものは

本年度は、コロナ禍のため、従来のような紙媒体の資料をご準備いただく必要はありません。オンラインでのご発表となるため、口頭でのご発表（15分～20分程度）が中心になります。尚、画面共有の形で資料を提示することをご希望の方は、各自、ご準備ください。その際も、その資料をご提出いただく必要はありません。オンライン上での口頭発表・資料提示は、児童生徒・保護者・教員等のプライバシーに重々ご注意の程をお願いいたします。

当日集まる人々

宇大の教員・大学院生・大学生・内地留学生

県内の教員

他大学の教員・大学院生

宇大と連携して学校改革に携わっている指導主事 等